



ふくもっちゃんの部屋 ～「ふくよみの日」のうた～

福島市立図書館では、毎月24日をふくしま読書の日（通称「ふくよみの日」）としています。
そして、「ふくよみの日」にPRソングがあるのをご存知でしょうか？

「ふくよみの日」のうた



福島市立図書館
作詞・作曲：福島市立図書館職員

「ふくよみの日」のうたに合わせて様々な
ふくもっちゃんが登場する楽しい動画は、
福島駅西口のふくしまエールビジョンで
定期的に放映されています。

また、福島市電子図書館の
ホームページからログイン
不要で見ることができます。



「言葉講座 福島の方言を学ぶ」開催のお知らせ

福島大学の半沢康先生を講師にお迎えし、
身近な方言の成り立ちや奥深さを学ぶことができる講座です。

日 時 8月21日（木） 午後2時～3時30分
場 所 コラッセふくしま3階 302会議室
定 員 20名（参加費無料）

申し込み方法 8月6日（水）9時30分から受付けます（電話受付可・先着順）。
お問い合わせ 西口ライブラリー TEL024-525-4023



図書館カレンダー 7月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

図書館カレンダー 8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

印は休館日

印は「ふくよみの日」貸出2倍デー

2025年7月2日発行

編集：福島市西口ライブラリー
〒960-8053
福島市三河南町1-20
TEL024-525-4023

発行：福島市立図書館
〒960-8018
福島市松木町1-1
TEL024-531-6551

《図書館ホームページ》



福島市西口ライブラリー広報



西口ライブ発信

毎月24日はふくしま読書の日です。本に親しみましょう！

2025年
7・8月号

新着本案内



『日本全国厳選水族館38』
中村 元 監修
大洋図書(480二ホン)

日本には、展示に工夫をこらした多種多様な水族館が存在しています。数々の施設リニューアルを手がけた水族館プロデューサーが、一日中楽しめる大型館から、個性あふれる小型館まで、それぞれの魅力を厳選して紹介します。



『虫を描く女』
中野 京子 著
NHK出版(723メリア)

イモ虫と蝶は別種と考えられていた時代に、卵、幼虫、さなぎを経て成虫となる虫の一生を一枚の絵に描いた女性がいました。独学で研究を続け、標本ではなく生きている姿を見るため南米に行くなど、虫に魅了された生涯をたどります。



『血と反抗』

石井 光太 著/幻冬舎(368イシイ)

外国人労働者の子どもとして日本で育った二世達が直面したのは、差別や貧困、虐待といった様々な困難でした。生き延びるために犯罪に手を染める者も中にはいました。彼らが語る壮絶な実話から日本社会の課題に迫るルポルタージュです。



『図説豊臣秀長』

河内 将芳 著
戎光祥出版(289トヨト)

来年の大河ドラマのテーマにもなっている豊臣秀吉の弟、秀長。派手な兄に比べると中々目立ちませんが、大納言まで立身出世を果たし、豊臣政権の中でも大きな役割を果たしていました。より深く秀長を理解できる1冊です。



『成層圏の墓標』

上田 早夕里 著
光文社(Fウエダ)

私と画家仲間の凜さんは、世界中で目撃される雨坊と遭遇した。それは謎多き生物で、凜さんの兄は雨坊と接触し不自然死しているという。私達は死の真相を解明すべく、彼らの正体に迫っていく。表題作のほか9編を収録した短編集。

新着本



西口ライブラリーに新しく入った本を一部紹介します。

できる Outlook 2024 山田 祥平・できるシリーズ編集部 著／インプレス(007デキル)	砂漠の雪 稲葉 真弓 著 七北 数人・烏有書林 編／烏有書林(Fイナバ)
あなたのフェミはどこから？ 安達 茉莉子ほか 著／平凡社(367アナタ)	記憶の対位法 高田 大介 著 ／東京創元社(Fタカダ)
最新研究で迫る生き物の生態図鑑 きのした ちひろ 著／エクスナレッジ(481キノシ)	墳墓記 高村 薫 著／新潮社(Fタカム)
基礎からわかる大人服ソーイング 加藤 容子 著／日本ヴォーグ社(593カトウ)	みにくいふたり 芦花公園 著／実業之日本社(Fロカコ)
ペン1本からはじめる日常スケッチ すずき じゅんこ 監修／メイツユニバーサルコンテンツ(726ペンイ)	月蝕島の信者たち 渡辺 優 著／双葉社(Fワタナ)
デザインの基礎体力を鍛えるトレーニング60 鎌田 隆史 著／エムディエヌコーポレーション(757カマタ)	立志の薬 江上 剛 著／祥伝社(PFエガミ)
「声」の言語学入門 川原 繁人 著／NHK 出版(801カワハ)	てきてき 鷹井 伶 著／潮出版社(PFタカイ)
読めない人のための村上春樹入門 仁平 千香子 著／NHK 出版(910. 2ムラカ)	柝の音響く 千野 隆司 著／小学館(PFチノタ)
わたしの言ってること、わかりますか。 伊藤 亜和 著／光文社(914. 6イトウ)	孤老たちの沈黙 福澤 徹三 著／光文社(PFフクザ)
日常のフローチャート 森 博嗣 著／ベストセラーズ(914. 6モリヒ)	ウィキッド・チャイルド グレゴリー・マグワイア 著 市ノ瀬 美麗 訳／早川書房(P933マグワ)

作家と



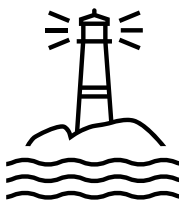
事件

『そして誰もいなくなった』や『オリエント急行の殺人』など、多くのヒット作を生み出したイギリスの推理作家、アガサ・クリスティー。ミステリの女王とも呼ばれる彼女は、1926年、36歳の時に11日間に及ぶ失踪事件を起こしています。夜の11時に娘を家に残したまま車でどこかへ出かけ、その後行方不明になったのです。大規模な捜査が進む中で乗り捨てられたアガサの車が発見されるなど多くの謎が生まれ、世間で大きな話題を呼びました。彼女はその後、あるホテルに偽名を使って宿泊しているのを発見され、無事に家族の元へ帰っています。失踪中の行動や原因について様々な憶測が生まれましたが、真相はアガサが亡くなるまで語られることはなく、今も謎に包まれています。

参考文献：『アガサ・クリスティー』ルーシー・ワースリー 著 大友 香奈子 訳／原書房（930クリス）

『逃げまくった文豪たち』真山 知幸 著／実務教育出版（902マヤマ）

ライブラリアンの



海

展示★名作案内

～広く、大きく、そして深い～



深海魚だって食べられる？

『深海魚のレシピ』

平坂 寛 著
地人書館(664ヒラサ)

謎多き深海の生き物ですが、意外と釣りあげる事ができ、食べられてもいます。不気味な見た目でも、そこには未知の味が潜んでいました。

深海のサメに巨大魚、流通禁止魚まで、筆者が調理し実際に食べてみた記録です。



沈没船から当時のいろいろなことが分かります。

『水中考古学』

佐々木 ランディ 著
エクスナレッジ(202ササキ)

水中考古学とは、沈没船など水中に眠る遺跡を発掘し、歴史を紐解く学問です。世界の海には、まだまだ未発見の遺跡が存在しているといわれています。海底探査の歴史や遺跡発掘の実態を通して、水中考古学の魅力に迫ります。



何よりも素直な気持ちが大事

『ガラスの封筒と海と』

アレックス・シアラー 著 金原 瑞人・西本かおる 訳／求龍堂(933 シアラ)

海沿いに住むトムは、ラジオで流れてきた曲をきっかけに、手紙を瓶に詰め海に投げ入れてみた。誰にも打ち明けず返事をひとり待ち続けるトムに、海から返事が運ばれてきたのだから。父親を海で亡くした少年に起こった奇跡の物語。



溢れる海への想い…止まらない！

『海恋紀行』

森 まゆみ 著
産業編集センター(915. 6モリマ)

岩井の民宿に泊まり1日中泳いだ幼い頃の思い出、デラ台風の被害に遭った日振島で知った海の恐ろしさなど、厳選エッセイを収載した海旅紀行です。日本中を旅する彼女が、これまでに会った海や人々との交流について語ります。

『ダイバーは

パラオの海をめざす』

太田 耕輔 著
集英社(785オオタ)

パラオで6年間ダイビングのインストラクターとして働いていた著者の体験記です。クジラやマンタといった大物からハゼ、ハナダイなどの小魚まで、海の生き物達の多様な魅力を臨場感溢れる文章で紹介しています。



読むだけで、気分はダイバー！